

植物工場へ自動化ソリューションを提供

米Oishii Farm Corporationとの資本業務提携による植物工場自動化への取り組みについて

当社は、Oishii Farm Corporation(以下 Oishii社)と、5月30日(火)に資本業務提携を行いました。Oishii社が展開する植物工場に対して、当社が推進するソリューションコンセプト「i³-Mechatronics」に基づく自動化ソリューションを提供することで、農業・食品分野での自動化のグローバルリーダーを目指し、食の安定供給等による持続可能な社会の実現に貢献していくことを本資本業務提携の目的としています。

Oishii社は米国ニュージャージー州を拠点にいちごを製造・販売するベンチャー企業であり、栽培サイクルが長く最も高度な農作物といわれるいちごを、ハチによる自然受粉を用い、世界で初めて安定量産することに成功しています。また、自然とテクノロジーを融合させながら、雨・空気・熱・光・栄養といった要素を植物にとって最適な条件で再現し、年間を通して旬のいちごを消費者向けにお届けすることを可能にした企業です。将来的には、いちごの完全自動生産の実現を目指しています。

一方、当社は新中期経営計画「Realize 25」の主な戦略の一つとして、メカトロニクス応用領域の事業拡大を掲げ、これまで培ってきた工場自動化技術を農業・食品分野に活用する取り組みを強化しています。またグループ会社の株式会社FAMSでは、これらの技術を応用した植物工場システム「アグリネ」を開発・販売しております。

このたびの資本業務提携では、Oishii社が今後建設予定の工場で行う全行程(播種・育苗~収穫・検査~箱詰め・出荷)の自動化の取り組みに対して、安川グループが持つロボットなどの製品およびソリューションを提供していきます。

農業技術と工業技術の結晶として生まれた植物工場は、消費市場への安全・安心な供給、自然災害からの回避による安定生産、労働力不足の解消などにつながるものであり、当社としてこのOishii社との協業を通じて農業・食品分野における持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

● お問い合わせ先：コーポレートブランディング本部 広報・IR部 広報推進課 TEL: 093-588-3076 FAX: 093-645-8831

未来のリケジョを育むためのイベント

安川電機みらい館で「安川電機ガールズデー」を開催

8月3日(木)に安川電機みらい館にて4年ぶりに参加者が一堂に会し、「安川電機ガールズデー」を開催しました。「ガールズデー」とは、理系のお仕事を女子中学生に紹介するドイツ発祥のイベントです。

北九州市立大学の「北九州サイエンスガールプロジェクト」とコラボし、「みらい館・工場見学+女性技術者のお仕事紹介+ロボット操作体験+座談会」という構成で実施しました。

最初は緊張した面持ちで参加していた中学生も、当社の産業用ロボットMOTOMANを実際に操作し、女性技術者や大学生との交流を通して次第に笑みがこぼれ、「楽しかった」「また参加したい」と言ってもらえることができました。

理系進路の最初の一歩は、高校での文系・理系選択から始まります。「数学が苦手だし、文系かな」と思っている方でも、苦手だからといった消去法で進路を決めるより、どんなことをやってみたいか、好きと思うことで進路を決めてもらいたい。そんな思いで、2015年から継続してこのイベントを開催しています。



● お問い合わせ先：総務・リスクマネジメント本部 総務部 社会・多様性推進課 TEL: 093-588-3077 FAX: 093-645-8831

次期五輪などに向けた強化トレーニングを実施 山口県萩市で陸上部合宿、陸上教室を開催

6月12日(月)~17日(土)の6日間、当社陸上部が山口県萩市でチーム強化合宿を行いました。ロンドン五輪6位という実績を持つ中本健太郎監督が山口県出身ということもあり、同市から熱心なお誘いをいただき合宿が実現しました。

今回の合宿では今秋、パリ五輪日本男子マラソン代表選考会に出場を控えている古賀淳紫選手を始め、7月に北海道各地でトラックレースを転戦する「ホクレン・ディスタンスチャレンジ2023」や、8月末の「北海道マラソン2023」に出場を予定する選手などが、目標のレースに向けて強化を図りました。

6月14日(水)には合宿受入れのお礼とご挨拶を兼ねて、中本監督と平山竜成コーチが萩市 田中文夫市長を表敬訪問しました。

中本監督から今回の合宿の目的や今後のスケジュールなどを報告すると、「萩市での合宿が実りあるものになるよう、練習に励んでください」と市長からお言葉をいただきました。

また、合宿期間中に地域交流の一環として、中学生を対象に2度の陸上教室を開催しました。市立川上中学校で開いた陸上教室では全校生徒6人のうち5人の生徒さんが、市立須佐中学校と市立田万川中学校の合同で行った陸上教室では23人の生徒さんが参加し、古賀選手、加藤風磨選手、今期入部した佐藤俊輔選手が講師を務め、生徒の皆さんと一緒に走る楽しさを共感しました。

左から、萩市教育委員会 池田廣司教育長、田中文夫市長、中本監督、平山コーチ、萩市陸上競技協会 高屋英人会長



市立川上中学校での陸上教室の様子



● お問い合わせ先：コーポレートブランディング本部 広報・IR部 広報推進課 TEL: 093-588-3076 FAX: 093-645-8831

モーションフィールドネットワーク MECHATROLINKを世界へ普及 MECHATROLINK協会 2023年度総会開催報告

MECHATROLINK協会(MMA)2023年度総会が、4年ぶり
に対面で開催されました。始めの挨拶では、MMA幹事長として
当社 上山モーションコントロール事業部長が、これまでのコロナ
禍の状況下での振り返りと、今後の更なる技術革新・自動化へ
の期待の高まりに対する思い、MECHATROLINK対応製品や
開発環境整備の加速化についてスピーチを行いました。

総会前半の部では、MMA事務局代表から2022年度活動
報告および2023年度活動計画が発表されました。続いて、メン
バー企業による新製品紹介では、神港テクノス(株)と当社が
MECHATROLINK対応製品の発表と製品の展示を行いました。
続いて、近年取り組んでいる連携活動として、一般社団法人日本
インダストリアルイメージング協会(JIIA)とMMAによるマシン
ビジョン機器のMECHATROLINKへの適用について発表が
ありました。

後半の部では、発足から20周年の記念イベントとして、落語家
の林家たい平様による特別講演が行われました。「笑顔のもと
に笑顔が集まる」というタイトルで、様々な人との出会いから
得られたエピソードは心に響くものがあり、表情豊かに聞き入っ
ている聴講者の様子がとても印象的でした。

また、総会終了後に開かれた懇親会では、参加者同士が和気
あいあいと楽しんでいる様子でした。

今後も、MECHATROLINKの普及活動に積極的に取り組んで
まいります。



2023年度総会の様子



落語家 林家たい平様



MECHATROLINK協会とは?

安川電機が開発・製品化したMECHATROLINKを世界に普及させるために2003年にオープン化し発足された組織です。製品開発メンバーおよびユーザーで構成されています。安川電機を含む、幹事会社8社を中心に運営されており、今年で20周年を迎えました。

内容/タイトル	発表者
1 開会挨拶	MECHATROLINK協会 幹事長 上山 顕治
2 MECHATROLINK協会 活動報告および計画	MECHATROLINK協会 事務局代表 下畑 宏伸
3 新製品紹介 ①株式会社 安川電機 ②神港テクノス株式会社	技術開発本部 コントローラ開発部 今永 一弘 顧問 横溝 然 様
4 発表 JIIA/MECHATROLINK協会 連携活動 「マシンビジョン機器のMECHATROLINKへの適用について」	次世代Visionネットワーク準備部会 主査 遠塚 弘 様 MECHATROLINK協会 事務局 坂田 篤宣
5 20周年記念イベント：特別講演「笑顔のもとに笑顔が集まる」	落語家 林家 たい平 様